

# 高校生の溶接技能向上機運高まる

## 川崎市立高校定時制が講習会

【神奈川発】神奈川県川崎市立高校定時制(川崎市幸区)は8月26・27日の両日、日本溶接技術センターから講師を招き、同校機械工場(溶接実習室・機械科講義室)で「アーク溶接技能講習会」を開催した。定時制課程の小平智足教頭は講習会開催に当たり、昨年の神奈川県高校生溶接コンクールの結果を踏まえた「技能向上」を強調する。

講習会には定時制機械科の生徒20人、教職員6人が参加した。同校の要望を受けた溶接センターは、船木正義講師を派遣し、溶接技能向上を図る。川崎市立川崎総合科学高等学校定時制(川崎市幸区)は8月26・27日の両日、日本溶接技術センターから講師を招き、同校機械工場(溶接実習室・機械科講義室)で「アーク溶接技能講習会」を開催した。定時制課程の小平智足教頭は講習会開催に当たり、昨年の神奈川県高校生溶接コンクールの結果を踏まえた「技能向上」を強調する。

結果に固執はなかった。もう少しがんばれば、という正直な思いが芽生えて溶接技能向上へのため講習会を企画した。溶接センターへの講師依頼は同校定時制の「夢教育」推進事業(キャリア教育)の一環として実現した。新しいカリキュラムはキャリア教育を重視した内容になる。現場で働いた方の技能を学ぶことは、就業意欲や仕事の厳しさや楽しさを伝えてもらう機会として会社訪問などを行う中で、今回地元・川崎の溶接センターに講師をお願いしたところ、快く引き受けていた関係者共々喜んでいる(小平教頭)。

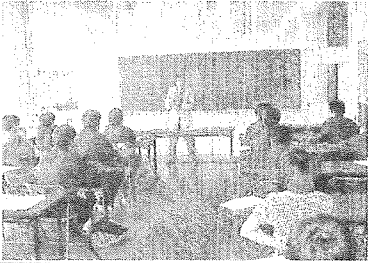
小平教頭は今回の講習会のきっかけについて、同校生徒が初めて参加した昨年の県コンクールを挙げる。「一人が6位に入った「ク、換気」など、安全に



講習会には定時制機械



地元の溶接センター・船木講師が熱心に実技指導



初日午前は安全・アーク基礎などの講義を受講

ら、実践的な指導を行った。立ち会った小平教頭は「大変有意義な講習会となった。船木先生からは生徒の溶接した課題を見てしきりにほめていただき、生徒たちは勇気づけられた」と思っていると語った。

小平教頭は溶接実習に先立ち、生徒に対して同校体育館の屋上から見える東京スカイツリーを話題に挙げた。「昨年建設途中のツリー上部に見える溶接の青い火を『あんなに高いところで命がけで溶接している』と思いつつ、同時に『あんなに危険な仕事だろ』と、つまり、ツリー

で溶接している人は自分の生きた証をつくっている。『つくった人が亡くなるのであり、建造物は当る。』『ついても記念碑は残る。』『これはお金では代えられない。みんなも将来は自分の人生の記念碑をつくる。そんな仕事を将来手がけてほしい』

例えは自分の子供や友人に「あの建造物は自分が鉄骨を溶接した」と言